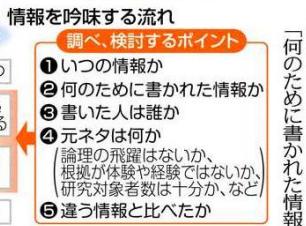


## 教育

# 健康情報、見極める授業

## 元養護教諭 中学での実践まとめ



研究を始めたのは、森さんが名古屋市の中学校から付属名古屋中に異動した二〇一四年。最初に、古田真司・愛教授（養護教育講座）と共に考案した五択式のテストで、生徒たちの「批判的思考力」を測った。健康情報を吟味する力だ。すると、学年による差は見られなかった。学校で学ぶ知識が増えて、健康情報の判断力は自然には高まらないことになる。

得点の高い生徒を分析する

ワークブックを手に健康情報の自己判断について話す森慶恵さん＝中日新聞社で

インターネットにあふれる健康情報から、信頼できる情報を選ぶ力を、子どもたちが身に付けるには、どう指導したらいいかを、養護教諭として研究してきた人がいる。四月から、鈴鹿子ども教育学部（三重県鈴鹿市）で講師を務める森慶恵さん（五十）。五年にわたり愛知教育大付属名古屋中学校（名古屋市東区）で行った授業の実践から、指導の方向性を見いだした。

（佐橋大）

「専門家や「口コミ」の情報を

うのみにせず、情報の根拠を

見て信頼性を判断する傾向が

強いことも分かった。そこ

で、「健康情報を判断するこ

とを知った上で、情報を吟味

する練習が必要」と推測。一

昨年、保健体育の保健の一時

間に「行う次の授業法に行き着

いた。

生徒に健康情報が載った四

つのウェブサイトを示し、そ

の信頼性を考えさせる授業

だ。たとえば、①子どもが自

由に寄せた健診相談への回答

②健康情報のまとめ③健康食

品④医師の著述。性格の異なる

情報を見て、

「何のために書かれた情報

」

など

の情報を見て、

「どのために書かれた情報

」

など

の問題を題材として示すのが

ポイントといつ。

「何のために書かれた情報

」

など